

第三次富士市緑の基本計画策定 中間報告資料

令和 7 年 3 月

富士市都市整備部 みどりの課

目次

1	計画の基本的事項	2
2	現計画策定から約10年間の変化	8
3	現計画の目標達成及び施策の進捗状況 ...	14
4	市民アンケート調査	26
5	富士市の緑の課題	34
6	次期計画策定の視点	35
7	策定スケジュール	36

1 計画の基本的事項

1 「緑の基本計画」とは？

都市緑地法第4条に基づいて市町村が定めることができる
「都市における緑地の適正な保全や緑化の推進に関する基本計画」



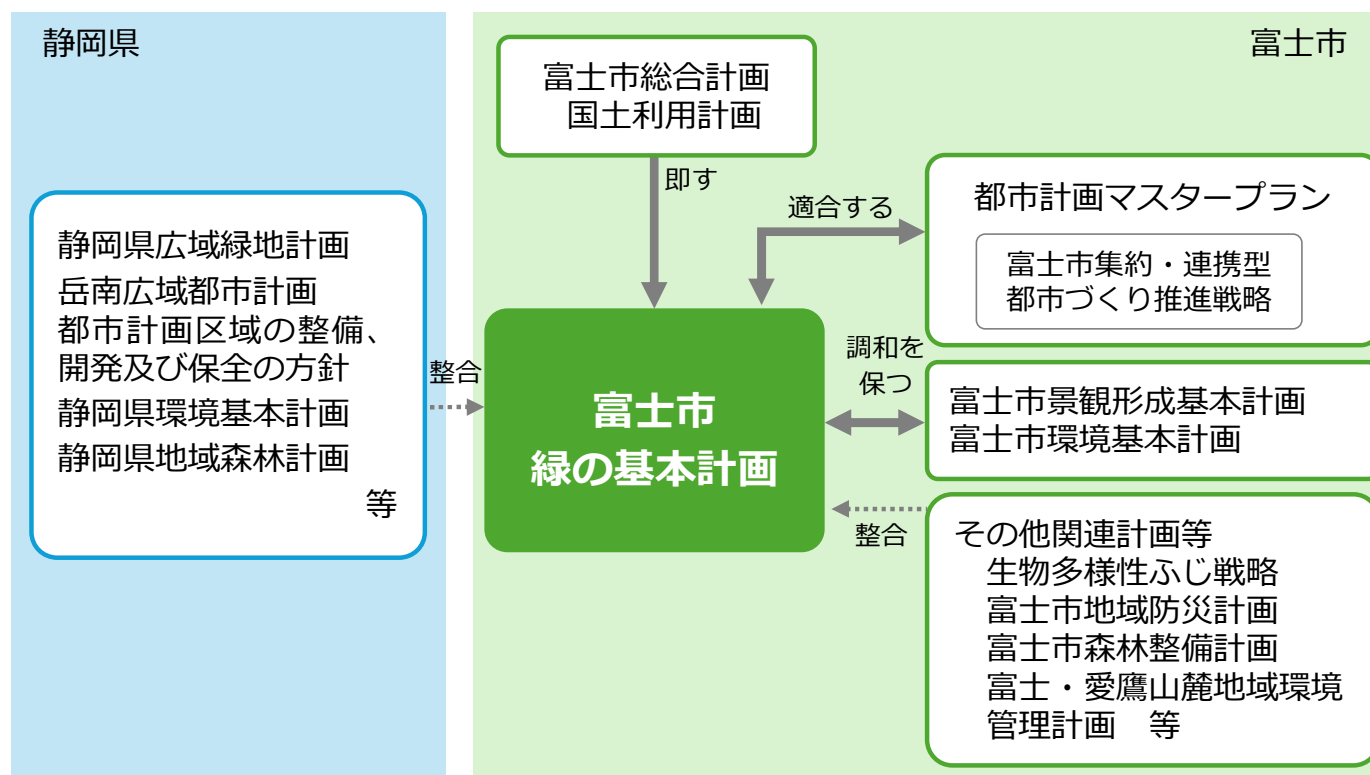
市内の緑を、市民とともに（協働）
守り（保全）、育て（緑化）、
住みやすいまちづくりに活かす（活用）ための
今後10年間の目標と取組を明らかにするための計画

1 計画の基本的事項

1 「緑の基本計画」とは？

◆位置づけ

富士市総合計画、国土利用計画を上位計画とし、景観、環境に関する計画などと連携を図る計画です。



1 計画の基本的事項

2 「緑」とは？

この緑の基本計画では、次のものを総称して「緑」と表します。

樹木
草花



樹木や草花に覆われた場所や水辺



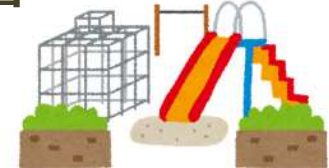
樹林地



草地



公園



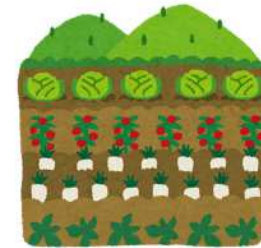
住宅の
庭



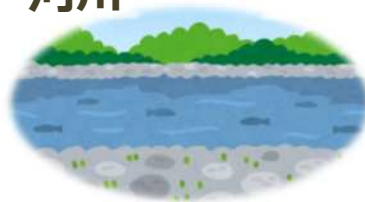
事業所の緑地



農地



河川



池
湧水地



街路樹・
花壇



1 計画の基本的事項

3 緑の役割

◆レクリエーション

- 市民の交流の場
- 子どもの遊び場
- 運動・健康づくりの場
- 散策・休憩の場の提供
- 自然とのふれあい など



◆環境保全

- 大気の浄化
- 二酸化炭素の吸収
- 水源のかん養
- 動植物等の生息・生育環境の保護
- ストレスの少ない住環境の実現 など



1 計画の基本的事項

3 緑の役割

◆防災

- 地震・火災等の災害時の避難路・避難場所の確保
- 延焼の遅延や防止
- 洪水や土砂崩れ等の防止
- 被災後の救援活動・復旧活動の拠点など



◆景観形成

- 富士市のシンボルとなる都市景観の形成
- 緑豊かな風土景観の形成
- 都市化により視覚から受けるストレスの緩和 など



1 計画の基本的事項

4 なぜ新しい計画をつくるか。

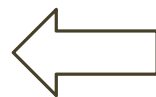
平成28年
(2016年)

富士市緑の基本計画（第二次）策定



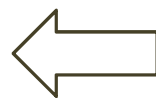
環境、社会の変化

(SDGs、気候変動による自然災害の激甚化、幸福度（ウェルビーイング）の向上など)



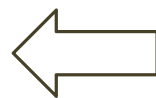
関連法令の改正等

(都市緑地法改正〔H29・R6他〕、都市公園法改正〔H29〕など)



国、静岡県の政策の動向

(グリーンインフラ、流域治水、公園・道路・河川などの公共空間の活用等)



上位計画の改定

(富士市総合計画、富士市集約・連携型都市づくり推進戦略等)

現在

令和6年
(2024年)

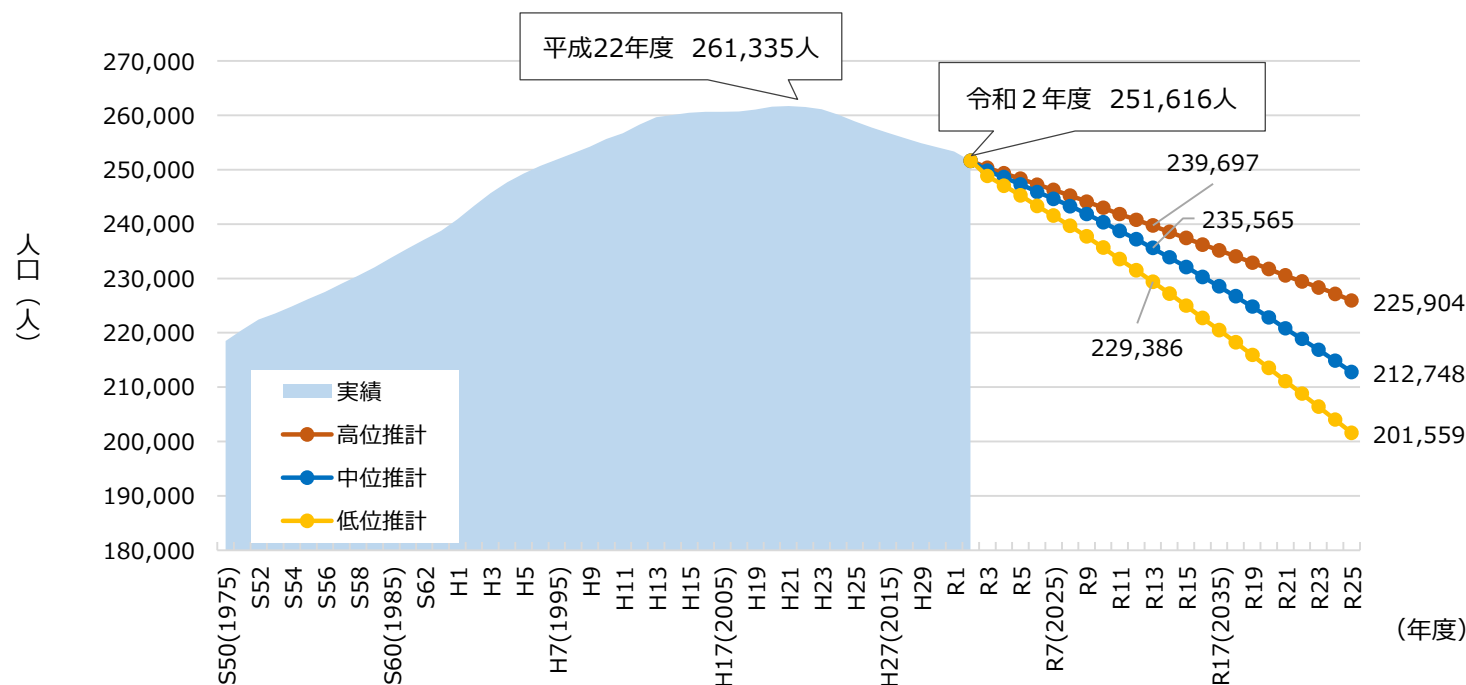
環境や社会の変化などに対応した、緑に関する
今後の方向性を定めるため、新しい計画を策定

2 現計画策定から約10年間の変化

1 富士市の現状（10年間の変化）

（1）令和2年度までの実績値に基づく将来人口推計

- 人口は平成22（2010）年をピークに減少傾向。令和25（2043）年には20～23万人となり、少子高齢化が一層進む見込み



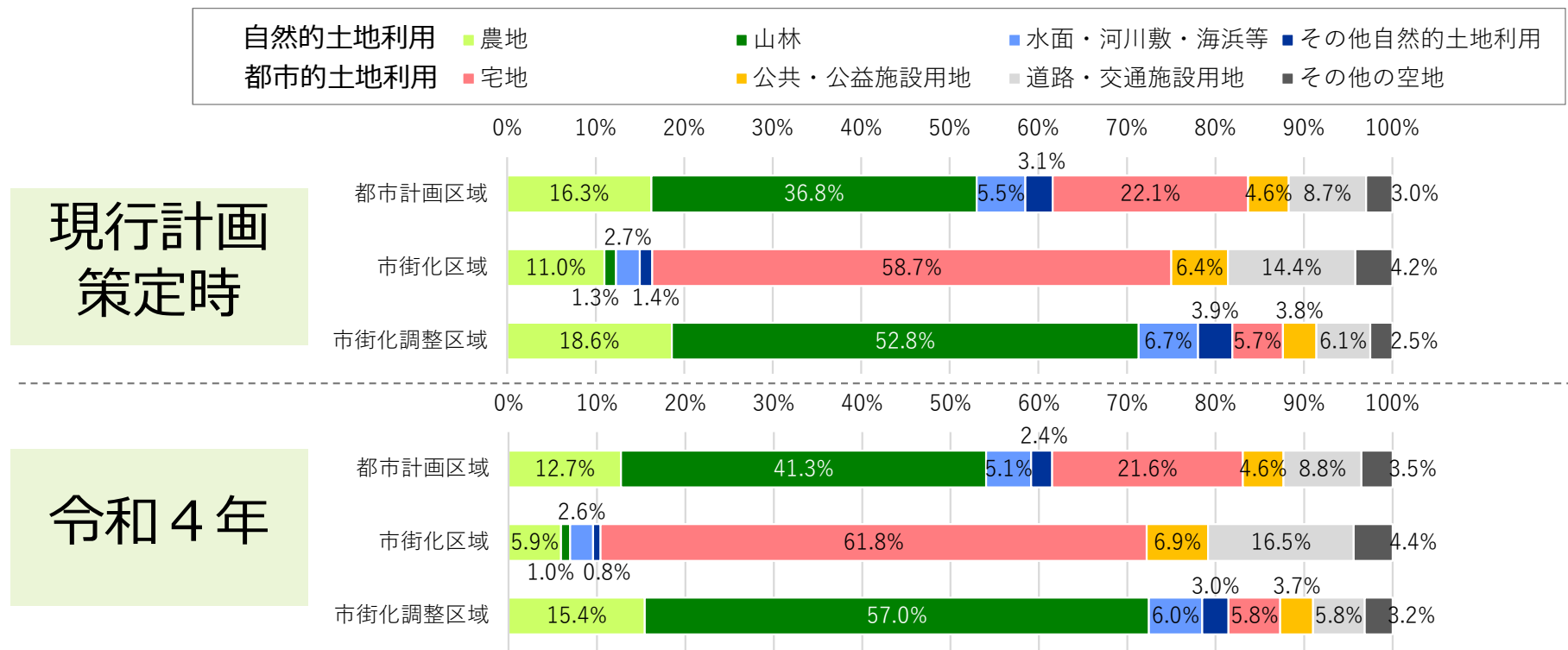
（出典）「富士市統計書」、「第六次富士市総合計画前期基本計画」を基に作成

2 現計画策定から約10年間の変化

1 富士市の現状（10年間の変化）

（2）土地利用

- 市街化区域において、宅地（住宅用地・商業用地・工業用地等）が増加し、自然的土地利用（主に農地）が減少



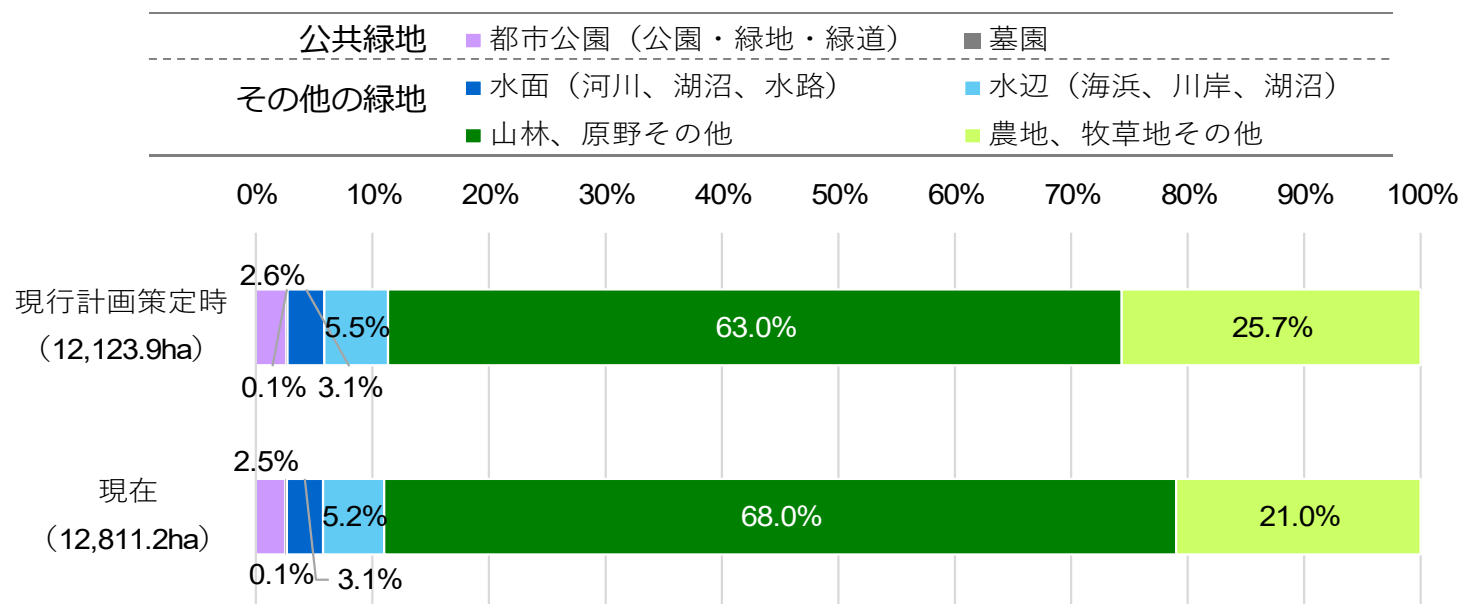
（出典）都市計画基礎調査を基に作成

2 現計画策定から約10年間の変化

1 富士市の現状（10年間の変化）

（3）緑の現況（都市計画区域）

- 現在の都市計画区域内の緑は約12,800ha（都市計画区域の約61%）
- 構成をみると、現行計画策定時と比較して、「山林、原野その他」の割合が増加し、「農地、牧草地その他」の割合が低下



（出典）都市計画基礎調査、市資料を基に作成

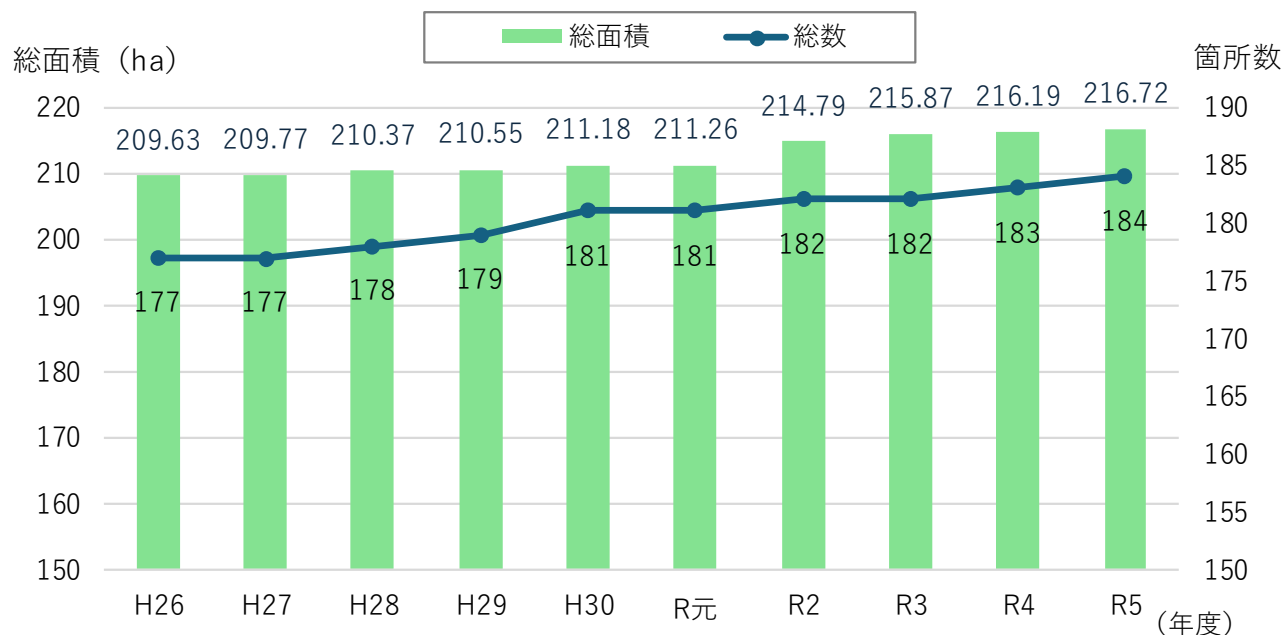
2 現計画策定から約10年間の変化

1 富士市の現状（10年間の変化）

（4）都市公園※の面積・箇所数

※市が管理する都市公園（県が管理する富士山こどもの国は除く）

- 市が管理する公園の面積・箇所数（令和5年度末）は、216.72ha、184か所
- 現行計画策定時（平成26年度末）から、7.09ha、7か所増加



（出典）「富士市統計書」を基に作成

2 現計画策定から約 10 年間の変化

2 国・県・本市の動向

(1) 国の動向

都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針（緑の基本方針）（令和6年12月）

グリーンインフラの実装

都市公園の柔軟な管理運営（令和4年）

(2) 県の動向

岳南広域都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（令和3年3月）

(3) 本市の動向

第六次富士市総合計画（令和4年3月）

生物多様性ふじ戦略策定（令和2年3月）

第三次富士市都市計画マスタープラン（令和6年3月）

2 現計画策定から約10年間の変化

3 富士市の緑を取り巻く状況の変化 まとめ

本市の 概況

- 人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進む見込み
- 市街化区域において宅地が増加し、緑（主に農地）が減少
- 都市公園は現行計画策定時から約7ha増加

国や県の 動向

- 人口減少傾向を見据えた持続可能なまちづくりへの転換
- 緑についても、人口構造や環境の変化に対応を図りつつ、適切な維持・保全、活用を重視する方向に転換
- 新たな視点「グリーンインフラ」「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」「Well-being」

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

1 目標の達成状況

(1) 目標設定について

緑の確保と公園の整備に関する量的目標

①緑地の確保目標

(指標) 計画対象区域における緑地面積 (ha)

②都市公園の整備目標

(指標) 都市公園*の市民一人当たりの面積 (m²/人)

*広域公園 (富士山こどもの国) を除いた身近な都市公園

施策に対する成果指標

市民満足度に重点を置いた施策に対し
22の成果指標を設定

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

1 目標の達成状況

(2) 緑の確保と公園の整備に関する量的目標

- 緑地の確保目標は、目標値に達していない。地域制緑地のうち、自然環境保全地域、自然公園、河川区域の面積が現行計画策定時より減少していることが影響している。
- 都市公園の整備目標も未達成だが、計画策定時に想定した令和7年度人口で算出すると、9.07㎡となり、概ね達成されている。

		計画策定時 (平成27年度末)	現況 (令和5年度)	目標年度 (令和7年度)
①	計画対象区域における 緑地面積 (ha)	3,316	3,280	3,329
	(参考) 計画対象区域に占める割合	16%	15.5%	16%
②	都市公園*の市民一人当たりの面積 (㎡/人)	8.3	8.8	9.1
	(参考) 都市公園面積 (ha)	210	217	219

※広域公園（富士山こどもの国）を除いた身近な都市公園

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

(2) 緑の確保と公園の整備に関する量的目標

(参考) 計画対象区域における緑地面積の内訳

区分		現計画策定時 (ha)	現況 (ha)	現計画策定時からの増減	R7目標 (ha)	備考
施設緑地	都市公園	304.1	311.2	7.1	313.1	現況：R5年度末
	運動場	1.5	1.5	0.0	1.5	
	墓園	14.3	14.3	0.0	14.3	
	広場	11.0	11.8	0.8	12.0	児童遊園・開発行為広場、現況：R5年度末
	その他公共空地	292.0	297.6	5.6	295.2	
	市民農園	1.0	3.1	2.1	1.0	現況：区画数・1区画平均面積からの推計
	施設緑地 計	623.9	639.5	15.6	637.1	
地域制緑地	特別緑地保全地区	0	0	0.0	0	現況：都市計画基礎調査 (R3)
	風致地区	0	0	0.0	0	現況：都市計画基礎調査 (R3)
	保安林	632.2	655.7	23.5	632.2	現況：都市計画基礎調査 (R3)
	自然環境保全地域	1,000.5	953.9	-46.6	1,000.5	現況：都市計画基礎調査 (R3)
	自然公園	680.0	672.8	-7.2	680.0	現況：都市計画基礎調査 (R3)
	法令・条例等によるもの	河川区域	815.0	-26.5	815.0	現況：都市計画基礎調査 (R3)
		急傾斜地崩壊危険区域	14.9	4.8	14.9	現況：地域防災計画 資料2-8
		保護樹林	13.4	0.4	13.4	現況：R5年度末
		小計	843.3	-21.3	843.3	
	地域制緑地間の重複	306.9	306.9		306.9	(暫定値)
	地域制緑地 計	2,849.1	2,797.5	-51.6	2,849.1	
施設緑地と地域制緑地の重複		157.5	157.5		157.5	(暫定値)
総計		3,315.5	3,279.5	-36.0	3,328.7	

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

1 目標の達成状況

(1) 施策に対する成果指標

- 22の指標中、19指標が目標値と開きはあるが近づく方向で推移している。
また、2指標（公共施設の緑の豊かさに関する市民満足度、市民と協力して行っている緑化活動の認知度）が現計画策定時から変化なし、1指標（庭やベランダで花や緑を育てている・育てたいと思う市民の割合）で目標値と現況が離れている。
- 市民満足度に関する目標を、現計画策定時の1.5～3倍程度と大きく引き上げる値に設定したことが、目標値と現況（令和6年度）が離れている主な要因。

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

1 目標の達成状況

	成果指標	計画策定時 (H26年度)	現況 (R6年度)	傾向	目標 (R7年度)	進捗状況
基本方針1	緑の豊かさに関する市民満足度 (本市を緑豊かなまちだと思う市民の割合)	41.0%	52.2%	↗	60%以上	増加傾向
	防災機能（延焼防止等）を担う緑地の量に関する市民満足度	2.1%	10.1%	↗	20%以上	増加傾向
	樹林など自然の緑の豊かさに関する市民満足度	19.9%	26.6%	↗	40%以上	増加傾向
	河川、水路沿いの緑の豊かさの市民満足度	20.0%	24.1%	↗	40%以上	増加傾向
	水辺（河川、湧水、池沼など）の豊かさに関する市民満足度	21.1%	26.5%	↗	40%以上	増加傾向
基本方針2	身近な公園の管理に関する市民満足度	19.0%	25.2%	↗	40%以上	増加傾向
	公園愛護会数	211	244	↗	250	増加傾向
	公園の使いやすさ、快適さに関する市民満足度	15.3%	24.6%	↗	35%以上	増加傾向
	災害時に活用する場所としての公園の広さと公園の数に対する市民満足度	11.4%	19.5%	↗	30%以上	増加傾向
	公園内及び公園を含む周囲からの景観に関する市民満足度	19.3%	31.3%	↗	40%以上	増加傾向
	遊びや休息の場となる身近な公園の量と質に対する市民満足度	19.7%	32.0%	↗	40%以上	増加傾向
	自分の居住地区を緑豊かだと思う市民の割合	53.3%	60.8%	↗	65%以上	増加傾向

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

1 目標の達成状況

	成果指標	計画策定時 (H26年度)	現況 (R6年度)	傾向	目標 (R7年度)	進捗状況
基本方針3	生け垣作り補助金制度により設置した生け垣の総延長	34,176m	34,955m	↗	36,000m	増加傾向
	住宅地の緑の豊かさに関する市民満足度	9.4%	14.4%	↗	30%以上	増加傾向
	商業地（商店街、大型スーパー等）の緑の豊かさに関する市民満足度	6.0%	11.9%	↗	25%以上	増加傾向
	工場・事業所の緑の豊かさに関する市民満足度	5.1%	10.3%	↗	25%以上	増加傾向
	公共施設の緑の豊かさに関する市民満足度	21.1%	22.2%	→	40%以上	変化なし
	道路の緑の豊かさに関する市民満足度	15.6%	19.3%	↗	35%以上	増加傾向
	富士山を望む市街地の景観に関する市民満足度	25.1%	35.5%	↗	45%以上	増加傾向
基本方針4	庭やベランダで花や緑を育てている・育てたいと思う市民の割合	74.5%	59.8%	↘	85%以上	減少傾向
	市民と協力して行っている緑化活動の認知度	36.6%	34.4%	→	55%以上	変化なし
	緑や花を育てる市民活動の活発さに関する市民満足度	19.8%	24.9%	↗	40%以上	増加傾向

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

2 施策の進捗状況

- 69の取組中、59の取組が順調に推移（R5年度末時点）
- 実施しているものの進捗に課題のある取組は、湧水地の保護・整備と観光資源としての活用、比奈公園の整備など
- 未着手の取組は、公園のストック再編など

	取組を実施・継続 (経過は順調)	取組を実施・継続 (順調に進んでいない)	未着手
基本方針 1 うるおいある生活環境と災害に強いまちを支える緑と水を守ります	2 3	2	—
基本方針 2 身近な公園、特色ある公園を充実します	9	3	3
基本方針 3 富士山を望むまちな並みを彩る花と緑を育てます	1 3	—	—
基本方針 4 市民、事業者と協力して花と緑にあふれるまちをつくります	1 4	2	—
計	5 9	7	3

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

基本方針	基本施策	主な取組	掲載頁	①令和5年度末時点の実施状況と評価	②実施した取組の主な成果
1 うるおいある生活環境と災害に強いまちを支える緑と水を守ります					
(1) 豊かな自然環境を保全する					
①富士山麓に広がる森林の保全・管理		富士・愛鷹山麓地域環境管理計画に基づく総合的な環境管理	49	取組を実施・継続（経過は順調）	富士・愛鷹山麓地域の自然環境の保全を実施している。令和5年度の重度開発面積（累計）は0.283ha、植林（保全措置換算）面積（累計）は20.6haであり、森林の創造面積は累計20.32haである。
		富士山麓ブナ林創造事業の実施	49	取組を実施・継続（経過は順調）	毎年、1haを植栽
		市有林、民有林の適正管理	49	取組を実施・継続（経過は順調）	民有林の間伐実施面積 1,623.71ha
		国・県と連携した森林の再生	49	取組を実施・継続（経過は順調）	しずおか未来の森サポーター協定締結・更新実績 4社 71.7ha
		過度の森林伐採に対する抑制手法の検討	49	取組を実施・継続（経過は順調）	条例に基づき、富士愛鷹山麓地域かつ5条森林の開発については、アセスや保全措置等の対応を事業者に求めている。令和5年度の保全措置負担金の納入実績は2件であった。
		森林とふれあう機会の提供（里山体験講座等）	49	取組を実施・継続（経過は順調）	里山体験講座を毎年開催
②多様な生物の生息環境の保全	浮島ヶ原の保全		49	取組を実施・継続（経過は順調）	外来植物駆除作戦（浮島ヶ原自然公園）を毎年開催
				取組を実施・継続（経過は順調）	葎の刈込や高木剪定などの維持管理を行った。管理面積4.2ha
	動植物が生息・生育する環境として重要な緑地の保全		49	取組を実施・継続（経過は順調）	富士山麓ブナ林創造事業の実施（毎年、1haを植栽）保護樹木保護樹林の保全（保護指定件数100を、2021年度（99）以外は毎年維持している。）
	本市の風土に適した植物の育成		49	取組を実施・継続（経過は順調）	富士山麓ブナ林創造事業の実施（毎年、1haを植栽）
	地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのある外来種への対応		49	取組を実施・継続（経過は順調）	外来植物駆除作戦（富士山麓・浮島ヶ原自然公園）を毎年開催
	公園緑地等における動植物の生息地の保全及び保全活動に関する情報発信		49	取組を実施・継続（経過は順調）	外来植物駆除作戦（浮島ヶ原自然公園）を毎年ウェブサイトに掲載

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

基本方針	基本施策	主な取組	掲載頁	①令和5年度末時点の実施状況と評価	②実施した取組の主な成果
1 うるおいある生活環境と災害に強いまちを支える緑と水を守ります					
(2) 災害に強いまちをつくる					
①農地等の保全		遊休農地の活用促進	50	取組を実施・継続（経過は順調）	農業の担い手に補助金を活用した荒廃農地解消を提案し、順調に増加している。第6次総合計画に基づく解消面積R2 3.59a、R3 25.073a、R4 81.40a、R5 188.91a（累計）
		市民農園の普及推進	50	取組を実施・継続（経過は順調）	ファミリー農園（市営） H28 149区画→R5 109区画 民営市民農園 H28 2箇所168区画→R5 5箇所182区画 市営から民営に移行した
②オープンスペースの確保		密集住宅地などにおける公共空地の確保	50	取組を実施・継続（経過は順調）	葦の刈込や高木剪定などの維持管理を行った。 管理面積4.2ha
		市民緑地制度の活用検討	50	取組を実施・継続（順調に進んでいない）	制度運用のための要領作成まで行ったが、実施には至っていない。
(3) 緑と水のネットワークをつくる					
①樹木・樹林の保全		保護樹木、保護樹林の保全	51	取組を実施・継続（経過は順調）	保護指定件数100を、2021年度（99）以外は毎年維持している。
		海岸のマツ林の保全	51	取組を実施・継続（経過は順調）	松くい虫被害木の伐倒処理本数 9,908本
②水辺空間の保全・整備		湧水池の保護及び周辺の整備	51	取組を実施・継続（経過は順調）	平成28年度～平成30年度9湧水地年2回湧水量調査実施 令和元年度～令和5年度9湧水地年1回湧水量調査実施
				取組を実施・継続（順調に進んでいない）	かがみ石公園の湧水地周辺の整備を実施した。
		河川、海岸沿いの樹木の適正な管理	51	取組を実施・継続（経過は順調）	抵抗性マツの苗配布本数 11,400本
				取組を実施・継続（経過は順調）	調整池や河川緑地等を年間を通じて良好な状態に保つため、除草・剪定を実施した
		海岸、港湾周辺などの保全・整備	51	取組を実施・継続（経過は順調）	漁網倉庫を移転して水辺空間を整備 整備面積：1,194㎡
		ウォーキングイベント等、水辺や緑とのふれあいの機会の紹介	51	取組を実施・継続（経過は順調）	「歩く健康づくり一万歩」の普及啓発のため、市ウェブサイトでの紹介やコース内にある看板等の修繕を実施した。

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

基本方針	基本施策	主な取組	掲載頁	①令和５年度末時点の実施状況と評価	②実施した取組の主な成果
2 身近な公園、特色のある公園を充実します					
(１) 身近な公園を充実する					
①市民に望まれる 身近な公園づくり	住区基幹公園（街区公園、近隣公園、地区公園）の整備	52	取組を実施・継続（経過は順調）	街区公園1.62ha、近隣公園0.29haの整備が進んだ。	
	ワークショップ等を通じた計画段階からの市民参加の促進	52	取組を実施・継続（経過は順調）	新規整備や再整備事業について、ワークショップや意見交換の場を設けるなど、市民参加に配慮している。	
	公園愛護会等、住民主体による公園管理の促進	52	取組を実施・継続（経過は順調）	団体数が平成28年229団体から令和5年度244団体に増加。	
(２) 公園の使いやすさを高める					
①公園機能の向上	（仮称）公園改善提案制度（住民提案による改善計画づくり、住民主体の活動）の運用	53	未着手		
	街区公園の点検・評価の仕組みづくり	53	取組を実施・継続（経過は順調）	日常点検および定期点検による公園施設の点検を実施した。	
	公園から富士山を望む景観の向上	53	取組を実施・継続（経過は順調）	公園内の適切な維持管理を実施。公園整備では、富士山を望む景観に配慮した。	
	身近な公園における出入口、トイレ等の主要施設のバリアフリー化	53	取組を実施・継続（順調に進んでいない）	広見公園にバリアフリートイレを設置	
	既存施設の長寿命化対策及び計画的な改築・更新	53	取組を実施・継続（経過は順調）	遊具の更新事業を実施。 55公園 150基	
	災害時の自主防災組織の活動拠点としての機能向上	53	未着手		
②利用者サービスの向上	指定管理者による公園管理	53	取組を実施・継続（経過は順調）	中央公園など14公園について（公財）富士市振興公社による指定管理を行った。	
	民間事業者との連携による公園管理の質の向上	53	取組を実施・継続（順調に進んでいない）	中央公園に民間運営のカフェを設置した。	
(３) 公園の適正配置を進める					
①公園配置の検証と見直し	都市計画公園の見直しガイドラインの策定	54	取組を実施・継続（経過は順調）	ガイドラインを定め、見直しに着手した。	
	都市公園の整備プログラムの策定	54	未着手		
②都市公園等の整備	比奈公園等の都市基幹公園の整備	54	取組を実施・継続（順調に進んでいない）	0.42haの公園整備が完了し、供用区域が0.66haに増加した。	
	富士川緑地の整備	54	取組を実施・継続（経過は順調）	富士川左岸のサッカー場４面、少年野球場１面。富士川右岸の野球場２面が完成した。	

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

基本方針	基本施策	主な取組	掲載頁	①令和５年度末時点の実施状況と評価	②実施した取組の主な成果
3 富士山を望むまち並みを彩る花と緑を育てます					
(１)花と緑にあふれるまちをつくる					
①住宅地等の緑化推進	家庭緑化の促進	55	取組を実施・継続（経過は順調）	緑と花の百科展（全10回）講習会（全10回）の実施	
	富士市オープンガーデンの推進	55	取組を実施・継続（経過は順調）	共同公開用ガイドマップの印刷総会の開催	
	生け垣づくりの支援	55	取組を実施・継続（経過は順調）	平成28年度から56件 延長779.5m 補助額3,183,000円	
	富士市緑化基準に基づく開発行為における緑化推進	55	取組を実施・継続（経過は順調）	191件の立ち合い 111,051㎡をの緑地	
②工場・事業所の緑化推進	事業者に向けた緑地保全・緑化に関する普及啓発	55	取組を実施・継続（経過は順調）	191件の立ち合い 111,051㎡をの緑地	
	工場立地法に基づく緑化指導	55	取組を実施・継続（経過は順調）	平成28年から107件の申請を受け付け、基準を満たすよう緑化指導を行ってきた	
	富士市緑化基準に基づく工場・事業所の緑化推進	55	取組を実施・継続（経過は順調）	191件の立ち合い 111,051㎡をの緑地	
(２)公共空間のみどりを育てる					
①公共施設の緑化推進	富士市緑化基準に基づく公共施設の緑化推進	56	取組を実施・継続（経過は順調）	1件の相談、立ち合い 1472.81㎡の緑地（34.54％）	
	学校緑化の推進（緑のカーテン、ビオトープづくり等）	56	取組を実施・継続（経過は順調）	緑のカーテン平成25年度から210件 花育教室平成28年度から128件	
②道路緑化	シンボル道路、幹線道路における緑の適正管理	56	取組を実施・継続（経過は順調）	街路樹の剪定などの維持管理を実施した。	
	街路樹管理の推進	56	取組を実施・継続（経過は順調）	街路樹の剪定などの維持管理を実施した。	
	本市場大洲線の緑化推進	56	取組を実施・継続（経過は順調）	88㎡	
	市民協働による公共花壇の管理	56	取組を実施・継続（経過は順調）	富士市花の会による花壇管理（市内5カ所） 富士ばら会によるバラ花壇の管理（中央公園内バラ園）の支援	

3 現計画の目標達成及び施策の進捗状況

基本方針	基本施策	主な取組	掲載頁	①令和5年度末時点の実施状況と評価	②実施した取組の主な成果
4 市民、事業者と協力して花と緑にあふれるまちをつくります					
(1) 花や緑の魅力を伝える					
①市民、事業者への普及啓発	緑化指導員の活動推進	57	取組を実施・継続（経過は順調）	緑と花の百科展協力、研修会や懇親会を実施	
	花や緑、自然環境について学び、考える機会の提供（講座開催等）	57	取組を実施・継続（経過は順調）	R2以降10回開催（百科展の講習会除く） 参加人数は合計198名	
②市内外に向けた花と緑と水の情報発信	市内の緑や、花と緑を育てる市民活動等に関する情報発信	57	取組を実施・継続（経過は順調）	市民の会公式SNSでの情報発信 （令和3年以降投稿数101件、市民の会Instagram、ばらファンクラブFujiの合計） 花どこマップの作成（ウェブサイトを含め英語版も作成）	
	市民の憩いの場としての湧水地と関連する湧水スポットの情報発信	57	取組を実施・継続（順調に進んでいない）	ウォーキングマップの策定・配付	
	「質の高い緑」に関する市民からの情報を受信する仕組みづくり	57	取組を実施・継続（経過は順調）	緑化指導員からの定期的な報告（年4回）	
	富士山を望む花と緑の景色のPR（富士山百景、広報紙、ウェブサイトによるPR等）	57	取組を実施・継続（経過は順調）	ウェブサイト等によるプロモーション	
(2) 市民・事業者・行政の協働による活動を広げる					
①市民・事業者の緑化活動の促進	みどりいっぱい富士市民の会と連携した緑化活動の推進	58	取組を実施・継続（経過は順調）	緑と花の百科展（全10回）、講習会（全10回）、SNSによる情報の発信（投稿数101件）、緑の募金活動（全16回）	
	アダプト活動の促進	58	取組を実施・継続（経過は順調） 取組を実施・継続（経過は順調）	公園愛護会により公園等のアダプト活動を実施している。 令和5年度において企業75、団体22、計97団体が当該活動を実施している。	
	公園愛護会の活動促進	58	取組を実施・継続（経過は順調）	団体数が平成28年229団体から令和5年度244団体に増加。	
	緑の募金運動の推進	58	取組を実施・継続（経過は順調）	春期は町内会を通じて家庭募金、秋期は企業募金を実施	
②緑化活動の顕彰	緑化活動に関するコンクール、コンテストの実施	58	取組を実施・継続（経過は順調）	花壇コンクール（全8回） ローズガーデンコンテスト（旧ガーデニングコンテスト）（全8回）	
	功労者の表彰	58	取組を実施・継続（経過は順調）	毎年6月に表彰 H28年6月から75人（団体）を表彰	
③緑化イベントの開催	緑化に関するイベント（緑と花の百科展等）の開催	58	取組を実施・継続（経過は順調）	毎年2回開催 H28年4月から合計10回開催 イベント内で講習会開催（全134回） コロナ禍で5回中止	
④他部門の事業との連携による緑化推進	富士山女子駅伝に関連する整備に伴う緑化の推進	59	取組を実施・継続（経過は順調）	フィニッシュ地点の花壇の手入れ	
	「富士山登山ルート3776」での緑のPR	59	取組を実施・継続（順調に進んでいない）	富士山自然休養林ハイキングコースのPR	
	道路事業の進捗に伴う緑化の推進（本市場大洲線等）	59	取組を実施・継続（経過は順調）	88㎡	

4 市民アンケート調査

1 調査概要

目的

富士市緑の基本計画の策定にあたり、緑地の保全や緑化の推進、都市公園の整備及び管理などの取組に関する事項を中心に市民の意識、施策に対するニーズ等を把握すること

対象

無作為抽出した満18歳以上の市民3,000人

調査方法

調査票を郵送し、郵送またはオンラインで回答

回答期間

令和6年10月21日（月）～令和6年10月31日（木）

有効回答数

1,384人（有効回答率 46.1%）

4 市民アンケート調査

2 調査結果概要

緑の 豊かさ

- 居住地周辺の緑は減っていると感じる人の方が多い
特に住宅地の緑、樹林などの自然の緑の減少を感じている
- 一方、緑が豊かだと感じる割合は、現計画策定時より上昇

緑への 満足度

- 富士山を望む市街地の景観への満足度が高く、自然の緑の豊かさ、水辺の豊かさ、市民活動の活発さなどにも一定の満足度が見られる
- 全般に、現計画策定時と比較して不満を感じる割合は低下

期待する 取組

- 緑化・緑地保全に特に期待する役割は、良好な景観形成
- 今後の取組として、子どもが花や緑、自然にふれあえる場や機会の充実を期待

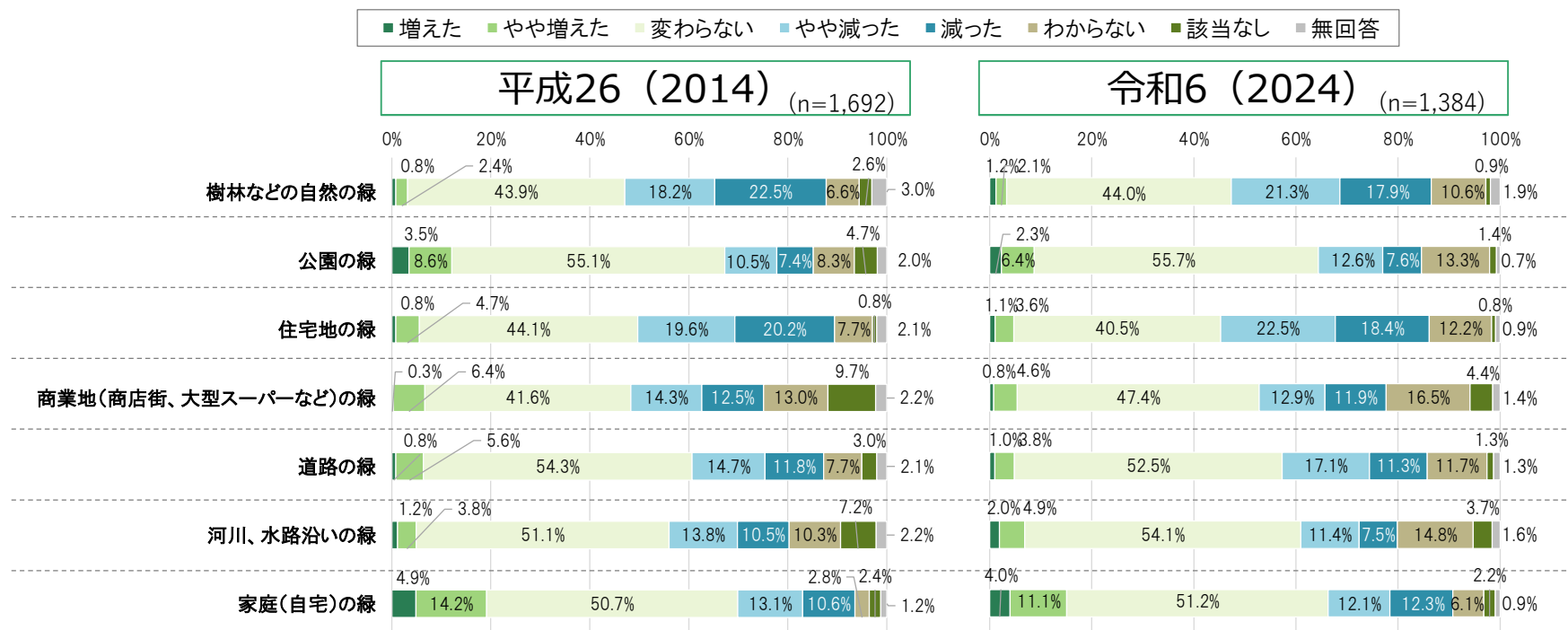
4 市民アンケート調査

3 結果（一部抜粋）

（1）お住まいの地区の緑について

①住まい周辺の緑の量の変化

- 全体に緑が増えたと感じる人より減ったと感じる人の割合の方が高い。
- 減ったと感じる人の割合が高い緑は、住宅地の緑、樹林などの自然の緑である。

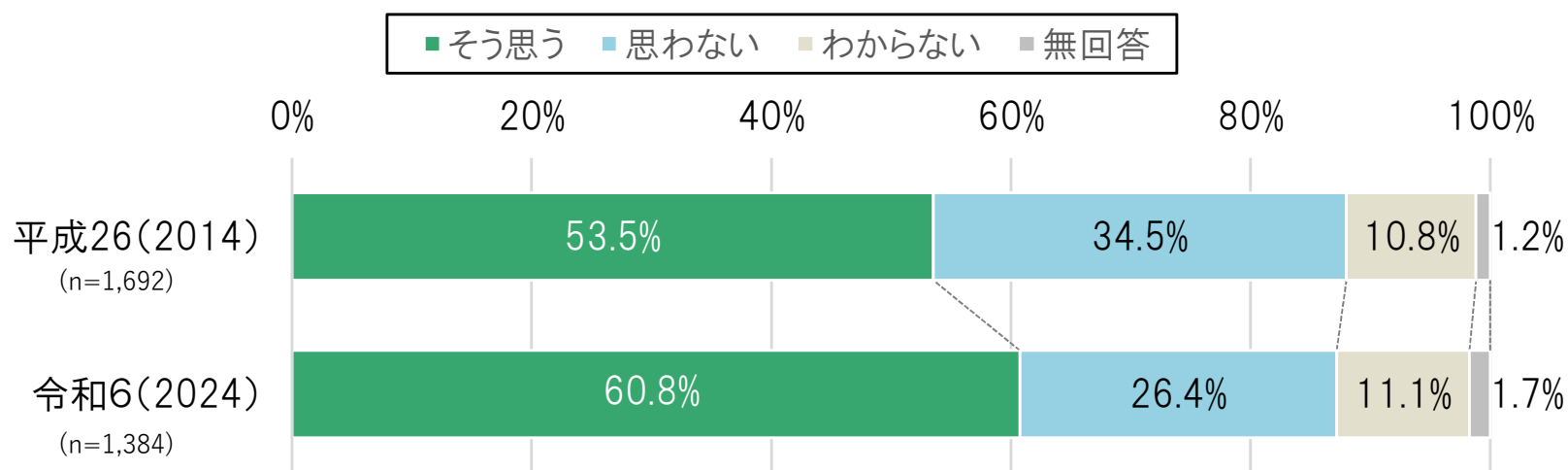


4 市民アンケート調査

(1) お住まいの地区の緑について

②お住まいの地区の緑の豊かさ

- 住まい周辺の緑の豊かさについて、「そう思う」が60.8%で、緑が豊かだと感じている割合が高い。
- 現計画策定時のアンケート（平成26年実施）と比較して、「そう思う」の割合は約7ポイント増加している。

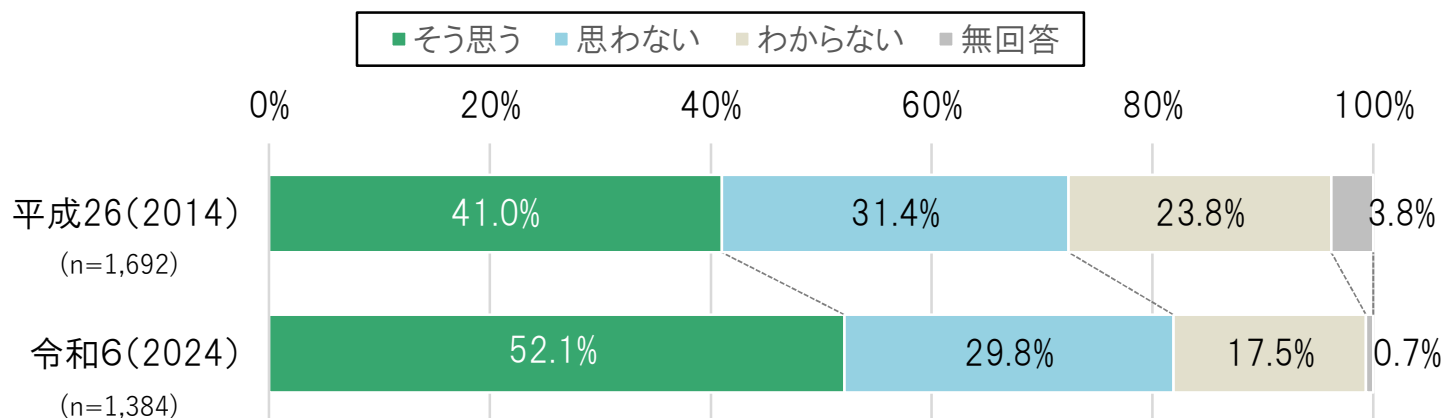


4 市民アンケート調査

(2) 富士市全域の緑について

①富士市全域の緑の豊かさ

- 富士市全域の緑の豊かさについて、「そう思う」が52.1%と、緑豊かだと感じている割合が高い。
- 現計画策定時のアンケート（平成26年実施）と比較して、「そう思う」の割合は約11ポイント増加している。

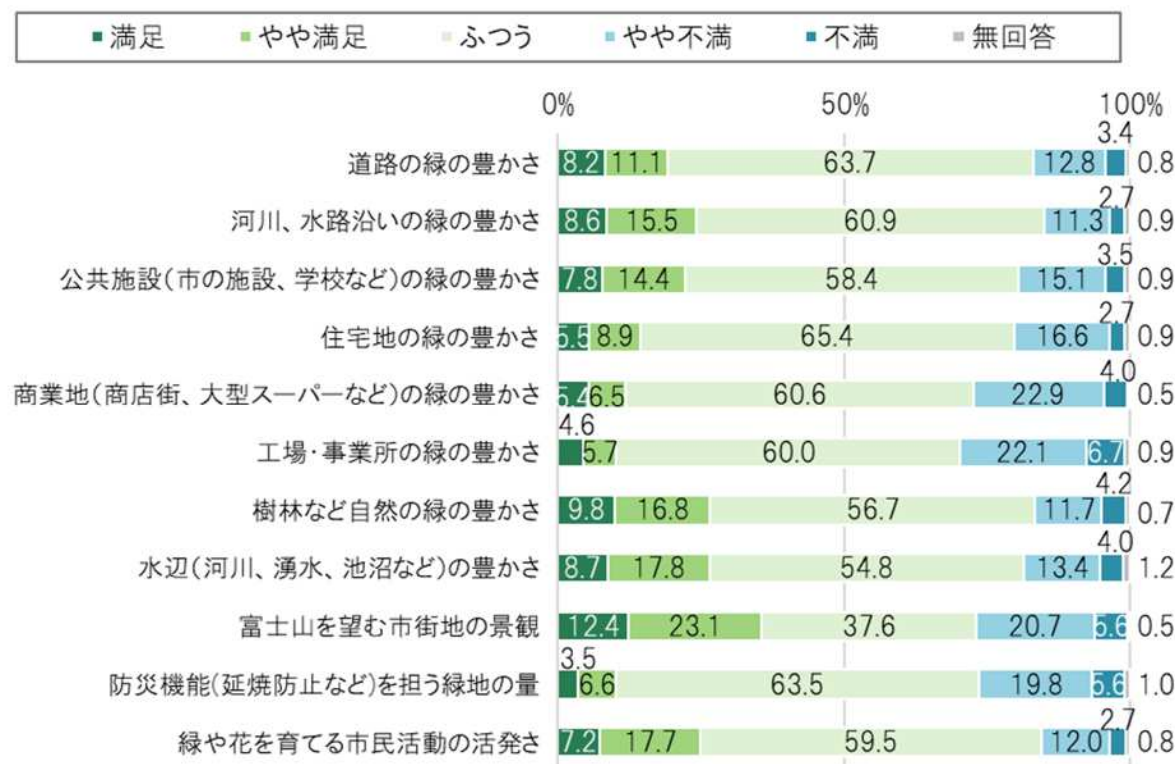


4 市民アンケート調査

(2) 富士市全域の緑について

②富士市（市街地）の緑の満足度

- 全体をとおして、「ふつつ」の割合が高い。
- 満足度（満足・やや満足の合計）が特に高い項目は、「富士山を望む市街地の景観」であった。
- 現計画策定時の調査と比較して、満足・やや満足の割合が高まり、不満・やや不満の割合は低下している。



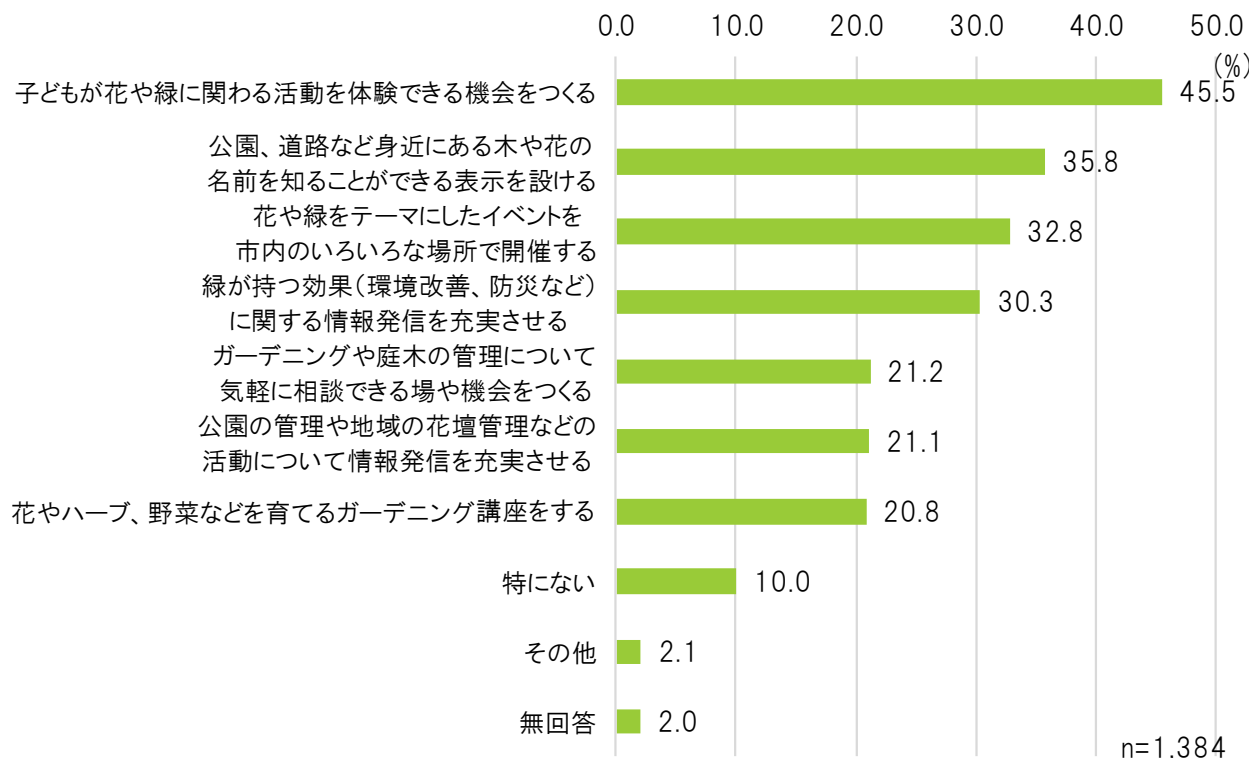
n=1,384

4 市民アンケート調査

(3) 緑化活動について

⑥市民と緑との関わりを広げていくための取り組み

- 「子どもが花や緑にかかわる活動を体験できる機会をつくる」が最も多い。
- 緑や花について、また緑の効果を知ることにも関心が見られる。

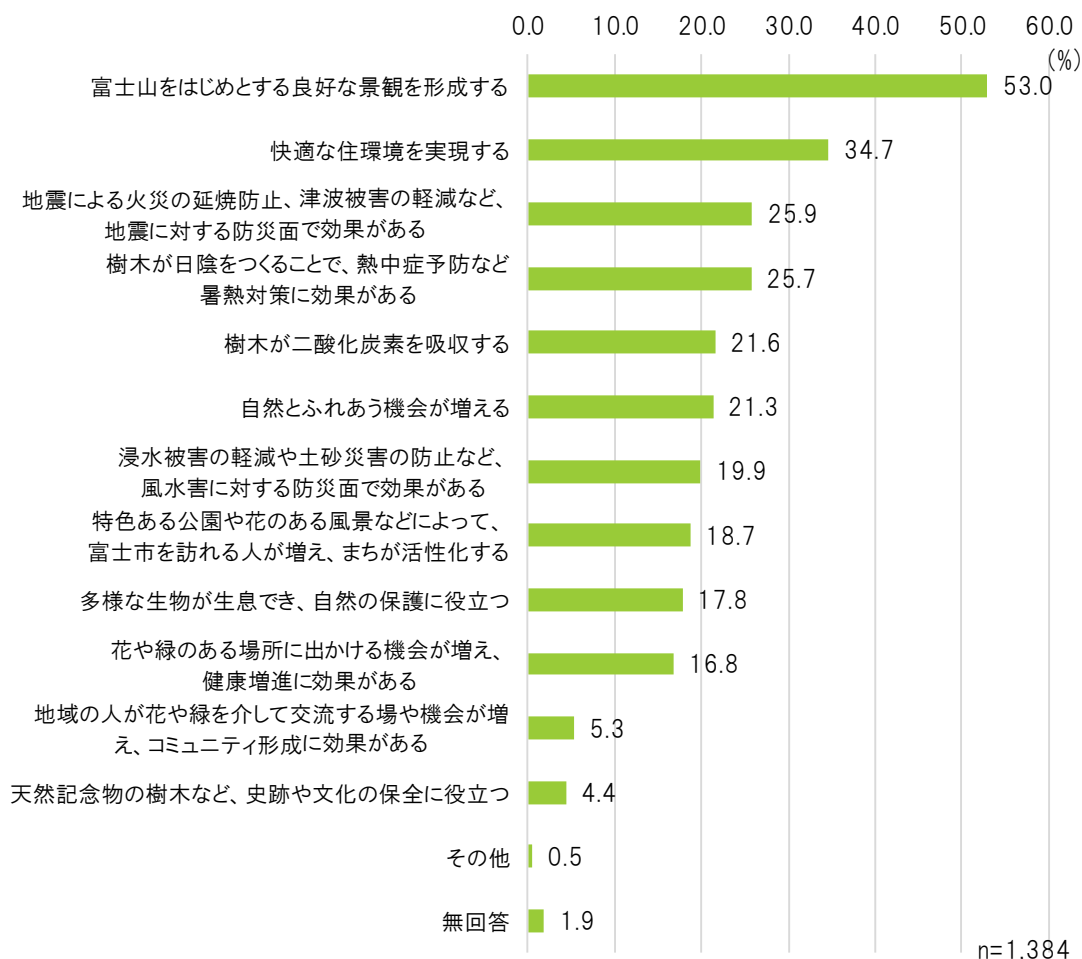


4 市民アンケート調査

(4) 緑地の保全、緑化の推進について

①緑地の保全や緑化の推進により期待する効果

- 「富士山をはじめとする良好な景観の形成」を選んだ割合が突出して高い。



5 富士市の緑の課題

課題 1

既存の緑の維持・保全と活用
を一層重視する段階への移行

人口減少が見込まれる中、これまでの取組により蓄積してきた緑を適切に維持・保全するとともに、持続可能なまちづくりに向け、その機能を活かす視点に立った取組の充実が必要

課題 2

身近な緑と公園の
適切な管理、再生

まちなかの緑、身近な公園を中心に、市民が日常的にふれあう緑を適切に管理し、良好な景観形成、快適な住環境の形成につなげていくことが必要

課題 3

富士山を望む景観形成
安心して快適に暮らせるまち
づくりにつながる緑の充実

市全体の視点からは、自然の緑を大切にし、富士山が映える緑の景観形成、災害に強いまちづくりを支える緑の充実に引き続き取り組むことが重要

課題 4

市民・事業者との協働
次代を担う人づくり

緑とともに育む市民・事業者の意識を醸成し、緑の育成、活用への関わりを広げていくことが必要中でも、次代を担う子どもたちが身近に花や緑、自然とのふれあいの場や機会の充実が必要

6 次期計画策定の視点

視点 1

緑の資産を健全に育て
未来に引き継ぐための
取組の充実

これまでの取組により蓄積してきた公園や樹木を、市民・事業者・市が協力して適切に管理し、健全な状態で次代に引き継いでいくための取組、支援を充実する

視点 2

身近な緑（公共の緑や民有
の緑地など）と公園の魅力
の向上

市民が日常的にふれあう公園、緑の安全性を高めるとともに、快適さ、使いやすさ、景観などの視点から魅力を向上させ、住み続けたい都市の実現に寄与する

視点 3

環境の保全と災害に強い
まちづくりに向けた取組
の継続

富士山麓や水辺の豊かな自然を大切にしつつ、「グリーンインフラ」の視点も取り入れながら、緑を生かして災害に強いまちづくりを実現していく

視点 4

多様な担い手
多様な参加
を支える仕組みづくり

市民・事業者みなで協力して富士市の緑を育てるという意識を広げていくとともに、市民がライフステージに合わせて選べる多様な参加の方法を構築していく

7 策定スケジュール

令和6年度策定スケジュール

業務内容	工程								
	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 計画策定の前提の整理									
①計画策定の背景と趣旨									
②対象とする緑、機能の整理									
③計画の位置づけと目標年次									
(2) 富士市の現況の整理									
①市の概要									
②自然的条件及び社会的条件									
③国、県等の動向									
(3) 富士市の現況の整理									
①緑の特徴や緑肥の現況									
②都市公園及び緑地の現況									
③緑に関するまちづくりの取組状況									
(4) 緑地や緑化に関する市民意向調査									
①調査票の設計・作成									
②調査票等の発送									
③データ入力及び集計分析									
(5) 現計画の検証									
①現計画の総合的な評価・検証									
②定量的な視点からの評価・検証									
(6) 課題の整理と策定方針のとりまとめ									
①課題整理									
②策定方針のとりまとめ									
(7) 各種会議等									
①市民懇話会									
②庁内検討会議									
③都市計画審議会									

7 策定スケジュール

令和7年度策定スケジュール

業務内容	工程											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(7) 計画策定の前提の整理												
①緑の将来像												
②緑の目標水準												
③緑の基本方針												
(8) 富士市の現況の整理												
①緑の将来構造												
②機能別の緑の配置方針												
③公園緑地の配置方針												
(9) 緑地の保全や緑化の推進施策（素案）の作成												
①緑の推進施策の検討												
②緑の推進施策の内容												
③緑化重点地区等の検討												
(10) 計画の推進方策（素案）の作成												
①計画の推進を支える体制												
②計画の進行管理												
(11) パブリックコメントの実施												
(12) 冊子作成、配布												
①計画書・資料編												
②パンフレット（概要版）												
(13) 各種会議等												
①市民懇話会												
②庁内検討会議												
③都市計画審議会												
④市議会（建設水道委員会協議会）												